

# 東海自然歩道を歩く

井出駅から寺尾島まで

2015年2月7日(土)

～8日(日)

【メンバー】浜口(L)、大塚、斎藤(幸)、斎藤(光)、浜口(由)

## 【コースタイム】

- 2/7 身延線・井出駅 10:25－13:10 六地藏 13:20－(約2時間ロス)－16:40 徳間－  
16:50 民宿「先祖」(宿泊)
- 2/8 民宿「先祖」8:00－9:20 七ツ釜滝－9:45 奥山温泉 10:15－(約2時間ロス)－  
12:50 青笹山への分岐－14:15 田代峠－15:50 ログハウス村(車に乗せてもらう)＝  
16:10 大平バス停 17:00＝(バス:寺尾島通過)＝18:15 東海道本線・清水駅(解散)

## 記録: 浜口



井出駅付近の東海自然歩道案内板前にて

東海自然歩道は、朝霧高原から田貫湖、長者ヶ岳の区間で一度静岡ルートに足を踏み入れましたが、長者ヶ岳から県境を越え再び山梨県に入っていました。

今回のルートは、山梨県南部町の井出駅から出発し、県境の田代峠で山梨ルート踏破となり、愛知県との県境を目指す長い静岡ルートの始まりとなります。

集合は JR 身延線・井出駅としましたが、身延線は本数が限られているため東海道本線・富士駅で全員集合となりました。1 時間弱で定刻通り 10:08 井出駅着。天気は晴れ。絶好のハイキング日和です。時間はたっぷりあるので、ゆっくり歩きましょうとスタートしたのですが…。

井出駅から富栄橋で富士川を渡って小高い山(約 360m)に登ります。一部山道はありますが、大半は舗装された道です。一旦川に下り、坂下バス停から六地藏公園へ。

六地藏公園は、六地藏の向こうに富士山。六地藏の手前に枝垂桜があって、満開の時に来れば絵になる景色だろうなあ、と思っていたらやっぱり、宿に写真が飾ってありました。

なお、舗装道路歩きで大塚さんの足の持病が悪化し、六地藏公園の手前で別行動。坂下バス停からバスで徳間の宿に向かっていただくことになりました。



六地藏公園の六地藏と富士山

残ったメンバーで六地藏公園から一旦沢に下り、本日3度目の山越え。鯨野で「橋の崩落により迂回路へ」という指示に従い林道を歩いて行ったのですが、しばらく歩くと分岐の標識。東海自然歩道の道標の先は荒れた感じで、しかも登りだったことから歩きやすい林道をそのまま進むことに。実は、地図で確認したつもりの現在位置は全くの間違いで、結果として大回りとなり2時間も無駄に歩くことになってしまいました。(これは、後で地理院地図で再確認して判明。参加の皆さん、ごめんなさい。)

ということで、1日目は到着予定時刻を大幅に超過して徳間に到着。本日の宿「先祖」に着くと、大塚さんはすっかり出来上がっていました。(ちなみに、大塚さんは14時頃に到着とか。)

徳間でこの時期に利用できる宿は「先祖」だけのようです。「先祖」は綺麗で雰囲気良く、料理も美味しくて素敵な宿でした。



民宿『先祖』での朝食



民宿『先祖』玄関にて レインウェアで出発

2日目は7時に朝食を準備していただき、8時出発としました。大塚さんは足の具合が悪いので、宿のご主人に井出駅まで送っていただくことに。日曜日は通学用なのでバスが運行していないのです。

天気予報は9時頃から雨または雪。全員レインウェアで出発。歩き始めるとすぐに雨が降り始めました。徳間から奥山温泉へは、数日前の雪で車が通行止めになっていたもので、車の心配をせずに道路の真ん中を悠々と歩き

ました。道路に雪は無く、凍結もなし。途中の観光スポット「七ツ釜滝」は5月まで立ち入り禁止なのでパス。奥山温泉も車が通行止めのため休館となっていて、当てにしていた施設内のトイレや飲み物の自動販売機は利用できませんでした。



七ツ釜の滝入口は閉鎖されていました



奥山温泉も休館となっていました

奥山温泉から林道を進んでいくと雨はしだいに雪に変わり、足元の積雪も深くなってきました。吹き溜まりでは30cm くらいのところも出てきました。田代峠を目指して黙々と登っていたつもりでした。しかし、実は田代峠への分岐を見落としてしまっていたのです。峠らしきところに到達しても何の標識も無く、しばらく進むと谷を下りはじめ、木に巻かれたテープを辿っているものの、本当に東海自然歩道を歩いているのか不安になってきた頃、林道に合流し東海自然歩道の道標を見つけ一同大喜び。が、道標の表示を見て愕然としました。なんと2時間以上も前に見た青笹山への分岐の標識だったのです。



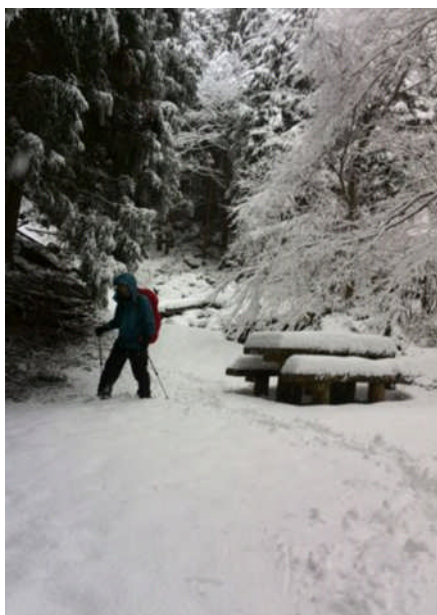
青笹山への分岐（後方が下ってきたルート）

このロス精神的にも、体力的にも、時間的にも大きくて、先に進んでも寺尾島 17:10 発の最終バスには絶対に間に合わないし、果たして歩き切れるのか、徳間に戻るべきなのか、と、かなり悩みました。けれど「バスは諦めタクシーを呼べば良い」と、皆さん前向きな感じだったので、改めて田代峠を目指すことに。



見落とした田代峠への分岐

見落とした田代峠への分岐は、青笹山への分岐から 20 分ほど歩いた林道の左手にある木の幹に貼り付けてありました。20cm くらい雪が積もったトレースの無い広い林道のやや右寄り(谷側)を歩いていたので最初に通過したときには全く気付きませんでした。ともかく、今度こそ田代峠に向かって雪道を登りました。約 40 分で田代峠(1035m)に到着し、あとはタクシーを呼べるところまで、なるべく早く下るのみです。



分岐から 15 分くらいのベンチ 急ぎます！



やっと田代峠に到着

峠から 30 分くらいで山道から林道に合流し、さらに 1 時間くらい下ったところにログハウス村がありました。そこで声をかけてくださった方に斎藤(光)さんがバス停を目指して歩いていることを説明していたら、なんと、大平バス停(寺尾島を通るバスの始発停留所)まで車で送って頂けることになりました。舗装道路を 3 時間ほど歩く必要がなくなり、諦めていたバスにも乗車できることになり、ほんとうに助かりました。



大平バス停 休日は1日5便で17:00発が最終です



大平バス停にて（寺尾島方面の方向）

ということで、最後は楽しましたが一応計画のルートはクリアーです。ただ、日の短いこの時期に二日間で4時間のロスをしてしまったことは大いに反省しています。これからも未知のルートが続くので、地理院地図等でしっかり予習をしたうえで先に進みたいと思います。

なお、地理院地図は必要に応じてスマホで確認すれば良いと考えていましたが、山に入ればスマホは圏外となり、地理院地図がダウンロードできないことを考えていませんでした。（人里から遠く離れないので圏外になるとは思っていなかった、というのが正直なところで、あまりにもお粗末でした。）

GPS で正しい現在位置が確認できるよう、自宅であらかじめ歩行エリアの地理院地図をダウンロードしておくこと、紙の地理院地図も必ず持参すること、は、必ず励行したいと思います。